

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ホープ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が日々楽しんで通所している	・それぞれの特性に合わせ、運動や制作などの活動を行っている ・季節や行事に合わせた活動を行っている	・より具体的な運動機能の向上や、表現方法の広がりにつながるような活動を計画し、おこなう
2	・利用している保護者のからも、事業所の取り組みに対する満足度が高い意見が多い	・児童の送迎時などに、利用している保護者との直接会話でやり取りする機会を大切にしている	・児童が通っている学校や他事業所との情報交換等をする機会を増やしていけるとよい
3	・個別支援計画に基づいた支援を行っている	・保護者からのモニタリングや、日々のアセスメントを踏まえ個別支援計画を作成している ・利用児の変化に合わせて定期的に見直しを行っている	・個別支援計画を踏まえた専門的支援計画の作成

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動を行ったり、日々過ごす事業所のスペースが狭い	・事業所自体のスペースの狭さ ・広い場所での活動が可能な職員配置ができていない	・それぞれの部屋を活かした活動の工夫 ・室内遊びだけでなく、散歩などが行えるような職員配置を整える
2	・保護者やきょうだいに対する支援の機会がなく、保護者同士での交流の場も設けられていない	・支援者と保護者との関わりが、送迎時やモニタリングの際のみで限定的になってしまっている ・保護者が直接交流する機会が設けられていない	・保護者同士の関わりをホープでも行えるような活動の検討
3	・併用利用している放課後等デイサービスや、学校との連携が上手くとれていない	・支援者同士の情報共有の場が少ない ・それぞれのケースにおける支援ネットワークが十分に構築されていない	・それぞれのケースでの支援ネットワークの構築 ・日常的に情報共有を行うことができる体制の構築